

広報文芸

自由俳句

おおくさの会編集室選

越冬野菜役目終えた麗らかな昼下がり 茶屋 藤原 寿郎

今日の春日家の奥まで届く気持ち良い朝 神戸上 柴田 篤子

春の日にペン取るも浮かばぬ句 宝谷 長尾 智恵

春一番イヌフグリ眩しい程の道辺を歩く 茶屋 小林 道子

頂いた茹で筍の匂い初物のメニュー広がる 生山 渡辺 圭子

萌黄の山に霧が立ち込め墨絵の世界に 茶屋 長谷川由美子

短歌

対馬産遠き島よりキエビネの 異郷の庭で咲き競う群

カシの木の枝に巣づくりヒヨドリの 部屋の窓よりそっと見守る

食卓に納豆梅干卵あり 長寿を目指し趣向をこらす

空高く木立を抱きて伸びゆかむ 気品漂う藤の花見ゆ

梅雨空の少しの晴れ間覗き見て 一步踏み出すノルディックウォーク

春風に洗濯物が踊り出す ワルツに、タンゴ、ツイストまでも

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。

俳句

駄句駄句会編集室

反戦の声轟きぬ芝青む

萩原 岡本 健二

藤房や縄れぬほどの風に酔う

宮内 木村篤佐子

行く春や卒寿の旅を帰国子と

宮内 田邊登志美

此の道を歩む楽しみ迎春花

宮内 船越 裕子

菩薩堂集う緑日花の雨

矢戸 和田 淑子

櫻花 虫に散らされ 夢ひと夜

菅沢 秦節

孫たちのにぎやかな声初音きく

下石見 矢田貝 元



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

6月の日程

7日(日)14時〜15時30分

場所 文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里(08030529933)

浅野 博美(09097341887)

「父の日」



父 右手の人差し指で軽く頬に触れた後親指を立てて上げる
(頬に触れるのは肉親を表し親指を上には目上の男性を表す)



日 右手の人差し指と中指と薬指の3指を伸ばし立てた左手の人差し指に指先を向ける
(漢字の「日」を表す)



「ありがとう」 左手の甲を上に向け右手を垂直に立て左手の甲を1回トんと叩いて軽く上げる
(相撲の時の手刀の表現からできた頭も同時に下げる)



「プレゼント」 右手はプレゼントをつまむような形にして左手のひらの上に構えて右手で左手をつまみ上げるように両手を同時に前に出す

※「手話表現には、色々な表現方法があります。」

